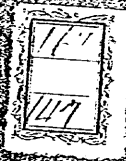


尋常小學讀本卷一



檢定申請本

K120.8  
68b  
1

K120.8

68b

1

(明治廿八年四月九日)

文部省檢定済

東久世通禧 閱  
西澤之助 編

# 尋常小學讀本卷一

東京國光社圖書部



## 尋常小學讀本

例言

本書編纂の要旨は、文部省令小學教則大綱の趣旨より尋常小學讀書科の教科用書に充つるに在り。而して、書中記述する所の事項は、一に、皆忠孝の本義に歸せしめ、併せて、雄大剛健の心性を涵養し、大に實業を愛重する思念を喚起せんとするの外ならず。

一從來の讀本に於いて、多く採録せし作話、たこへば、猿蟹の合戦、蛙と牛との問答の如きは、本書之を録せず。代ふ

るに、眞美の新事實を以てせり。又稚兒が、無心の遊戲のさまを記すにも、蝶を追ひ、雀を捕ふるといふが如き、單に、趣味を添へんことをつとむるよりも、或は、釣を試み、或は、花を植うるといふが如き事を記述し、以て他日、實業に導く素こなきむことを勉めたり。

一 全篇を通じて、海事に關する事項を、最多く、記述せる所以は、我が國の臣民に、海國思想を喚起せむと欲する微意なり。神州富強の本源は、實に、海國思想の發達に求めざるべからず。夫、漁業の振作も、通商航海業の興隆も、海軍の壯大も、一に、皆、海國思想の發達を求めずばあるべ

からざるなり。本書卷一 最初に於いて、こゝさらに、先「ナミ」ウミ」ウチ」等の課を設くるもの、亦、實に、この趣旨に出づ。而して或は、海濱に遠き地方に在りては、兒童、未嘗て、海を知らざるものありて、之が觀念を啓發すること、難きが如し。雖、我が神州の疆土は、これを、彼の大陸諸國の如きにくらぶれば、實に、全國、皆、海濱なりといふも、不可なきほどなり。況、瀛車の便、日に開け、海濱と、山間とは、僅に、一瞬半時の距離ならんとする今日に在りては、早く、己は、兒童の心中に、蒼海を喜び、波濤を快とする思念を養ふこと、甚しき困難あらざるべきに於いてをや。

るに、眞美の新事實を以てせり。又稚兒が、無心の遊戲のさまを記すにも、蝶を追ひ、雀を捕ふるといふが如き、單に、趣味を添へんことをつとむるよりも、或は、釣を試み、或は、花を植うるといふが如き事を記述し、以て他日、實業に導く素なさむことを勉めたり。

一 全篇を通じて、海事に關する事項を、最多く、記述せる所以は、我が國の臣民に、海國思想を喚起せむと欲する微意なり。神州富強の本源は、實に、海國思想の發達に求めざるべからず。大漁業の振作も、通商航海業の興隆も、海軍の壯大も、一に、皆、海國思想の發達を求めずばあるべ

からざるなり。本書卷一最初に於いて、ことさらに、先「ナミ」ウミ」ウヲ等の課を設くるもの、亦、實に、この趣旨に出づ。而して或は、海濱に遠き地方に在りては、兒童未嘗て、海を知らざるものありて、之が觀念を啓發すること、難きが如しと雖、我が神州の疆土は、これを、彼の大陸諸國の如きにくらぶれば、實に、全國皆、海濱なりといふも、不可なきほどなり。況、瀛車の便、日に開け、海濱と、山間とは、僅に、一瞬半時の距離ならんとする今日に在りては、早く、己よ、兒童の心中よ、蒼海を喜び、波濤を快とする思念を養ふこと、甚しき困難あらざるべきに於いてをや。

一 農業は、古來、國民最多數の業とせらるゝところ、商業、工業、また、實に、將來、我が國が、宇内に馳逐して、雄を、萬邦に競ふべきものなり。故に、此等の實業を獎勵し、其の思念を養ふことは、全篇の課題に就いて、多數を占めたり。

一 戦陣に於ける軍人の美談は、最、兒童の報國心を喚起するに宜しく、且、最、兒童の聞くを喜ぶものなり。故に、初卷に於いては、他の作話に代ふるは、この忠勇なる軍人の事實を以てせり。而して、臣民の、平素、各自の職業をつとむるは、あたり、艱苦を凌ぎて、勉勵すること、猶、兵士の、戦陣に於けると、同一ならむには、その本分を全うし得べ

く、皇國の忠臣たることは、軍人も、學者も、農商工漁業者も、同一なるべきことに歸着せしめたり。

一 本書は、全部を、八冊に分ち、一學年と、二冊宛を課することとす。且、三學年の學校に用ゐるにも、亦、適當ならしめんが爲、卷六を以て、一段落となし、教授の事項は、粗、全體を總括せり。

一 本書課程の順序は、單語より、短句と進み、順次、短文、普通國文に入るることとす。なし、其の間、また、談話體より、自然に、文章體に入らしむ。

一 漢字を授くるには、先、人、犬、等の如き簡易なる文字

より、順次、字畫の多きものより、全部を修了する後に至りては、普通使用の文字は、大抵、之を習得して、差支なからしめむことを勉めたり。

一各巻各課の記事は、其の之を學習すべ季節を合せしめ、且、毎課、相連係して、前課は、後課の豫備となり、後課は、前課を復習して、更に、新事項を教ふるものたらしめんことを勉めたり。

一本書初巻に於いて、練習の課を設けざる所以は、前課を用ゐたる文字は、可成、後課に重出せしめ、層々重出して、自然に復習するここの體裁をとりたるより、殊更に、練

習の課を付せざるなり。

一本書は、讀方を授くると共に、書取をも傳習せしめんが爲、初巻に於いては、各課、勉めて、兒童の、平常、熟知せるものにて、簡易なる文字を以て、表出し得るものより始め、漸次、複雑なるものに及びたり。

明治二十八年一月

編者識

尋常小學讀本卷之一

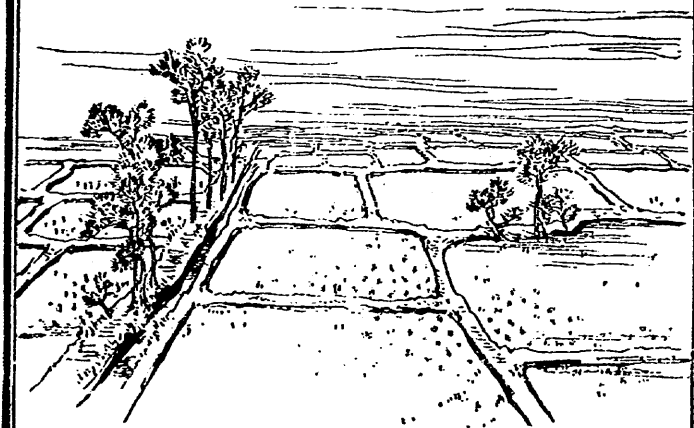
伯爵東久世通禧 閱

西澤之助 編

第一課

夕

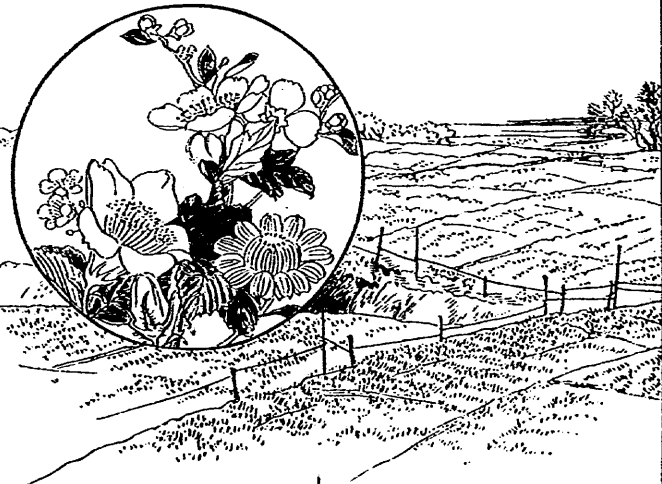
夕。



第二課

ハ  
夕

ハ。  
夕。

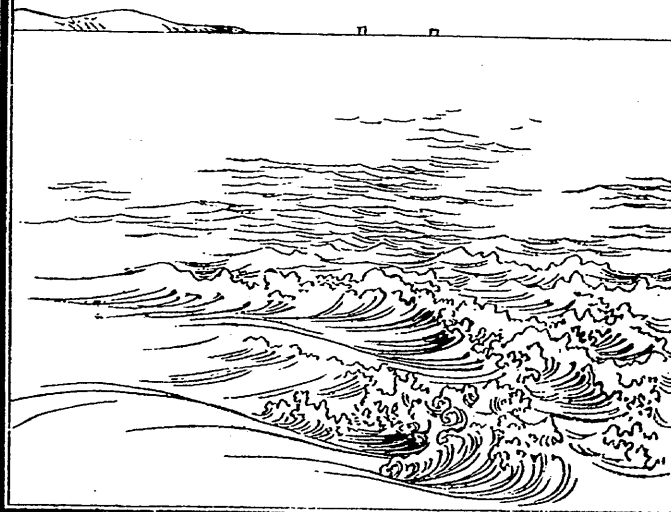




第三課

ウ ナ  
ミ ミ

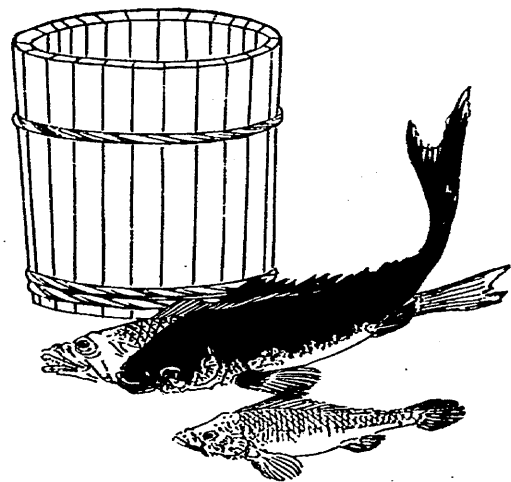
ミ。ウ。



第四課

ヨ ウ  
ケ ヨ

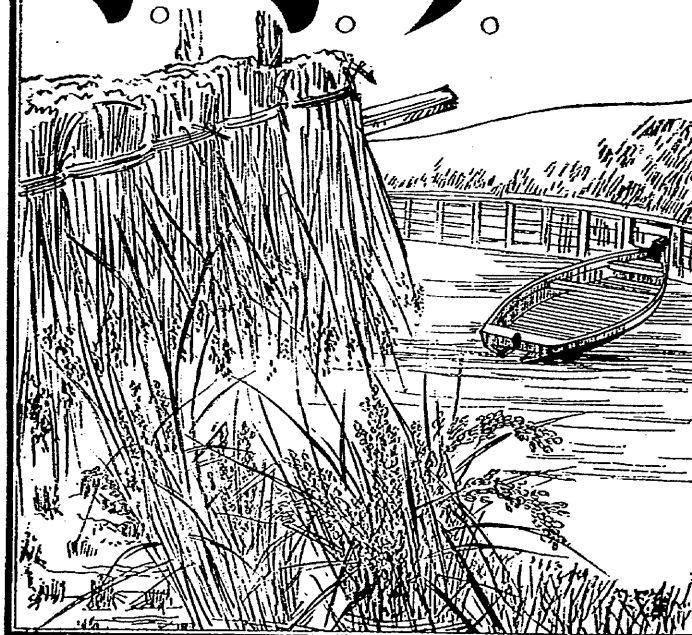
ヨ。ケ。



第五課

イ。子。フ。

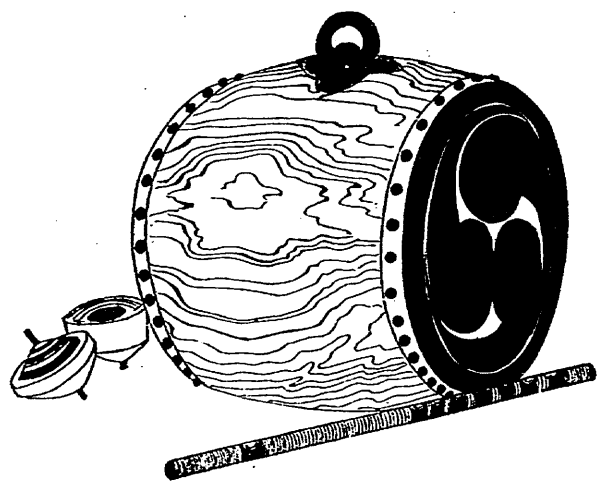
フイイ  
子子々



第六課

エ。コ。マ。

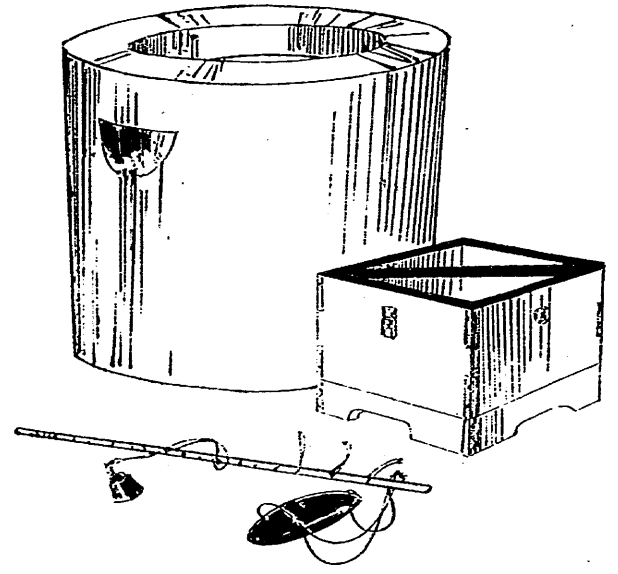
コタフ  
イマコエ



第七課

ス。カ。リ。

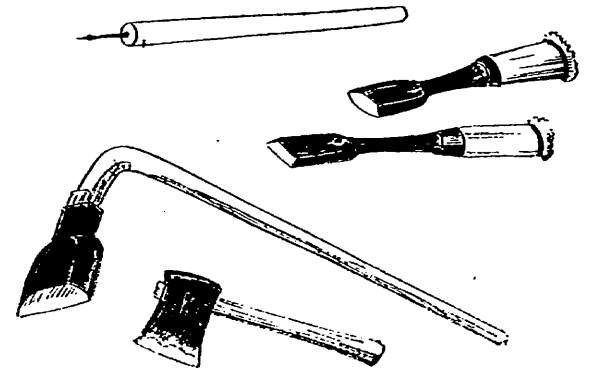
マウハ  
カリス



第八課

キ。ノ。テ。

キノ  
テヲ



第九課

ク。シ。ワ。井。

ク  
ミ  
カ  
ン  
リ  
ク  
ワ  
井



第十課

へ。チ。シ。ロ。

ナ  
ヘ  
チ  
マ  
ス  
シ  
ロ  
ウ  
リ

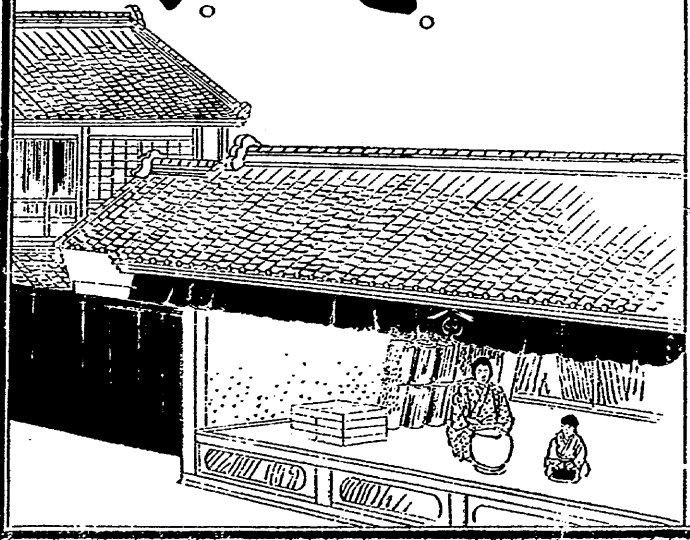


第十一課

ヒ。ロ。キ。ニ。セ。

ヒロキニセ

タカキヤ子

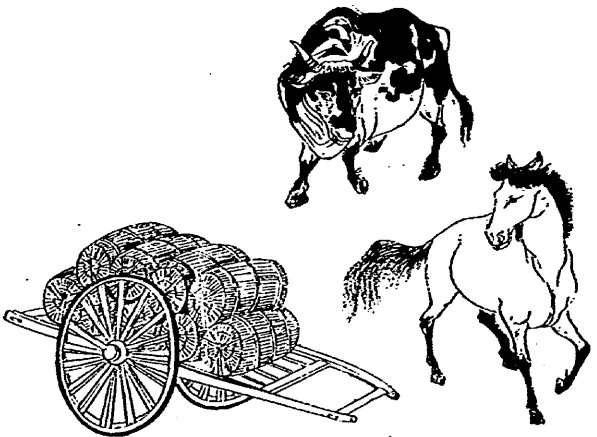


第十二課

ト。ル。ニ。ラ。

ウシト、ウマト

クルマニタワラ



第十三課

エ。サ。ツ。

エヲサス。

ウヲツル。

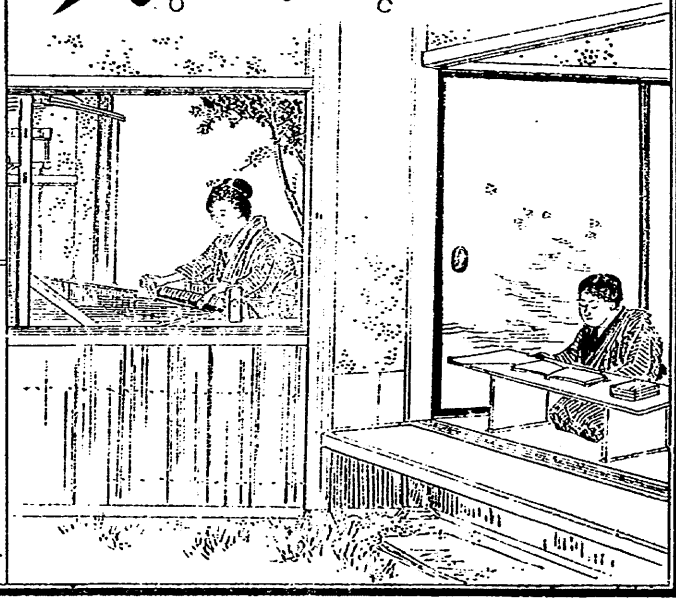


第十四課

ホ。ヨ。ム。オ。

ホシヲヨム。

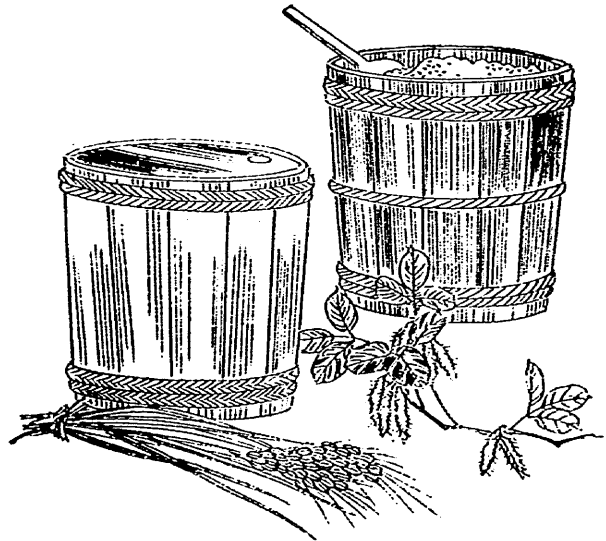
夕ヲオル。



第十五課

メ。ソ。モ。

マメニテ、  
ミソヲツクリ、  
コメニテ、  
サケヲカス。



第十六課

ア。ユ。ヌ。レ。

アサヤクヨリ、  
ツユニヌレテ、  
イ子ヲカル。



五十音

ナ	タ	サ	カ	ア
ニ	チ	シ	キ	イ
ヌ	ツ	ス	ク	ウ
子 <small>ネ</small>	テ	セ	ケ	エ
ノ	ト	ソ	コ	オ

ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ
井 <small>キ</small>	リ	イ	ミ	ヒ	
ウ	ル	ユ	ム	フ	
エ	レ	エ	メ	ヘ	
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	

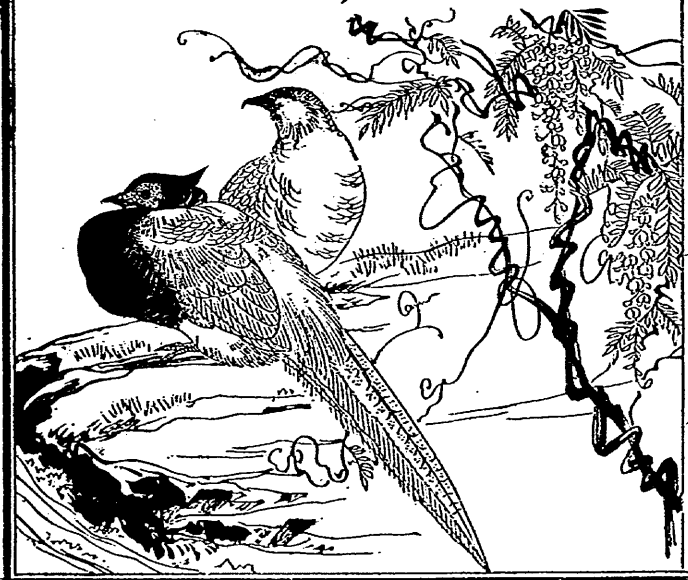


東京小島言本 卷之十一 第十一 國光社鐵板

第十七課

チ。ジ。

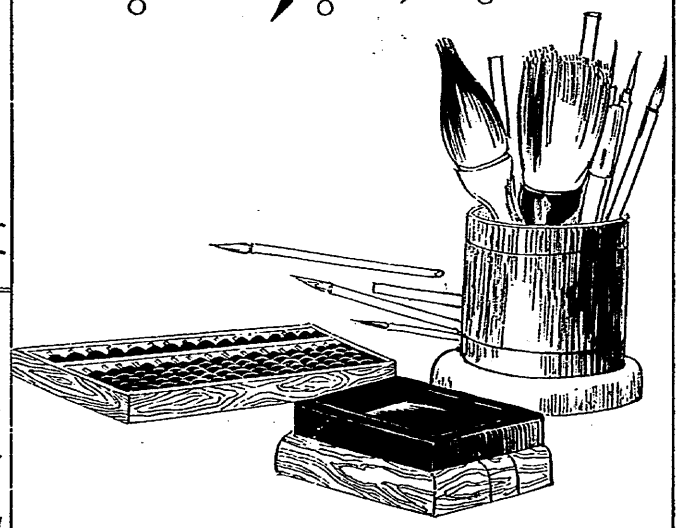
フヂ  
キジ



第十八課

テ。ズ。バ。

フヂ  
スズリ  
ソロバン

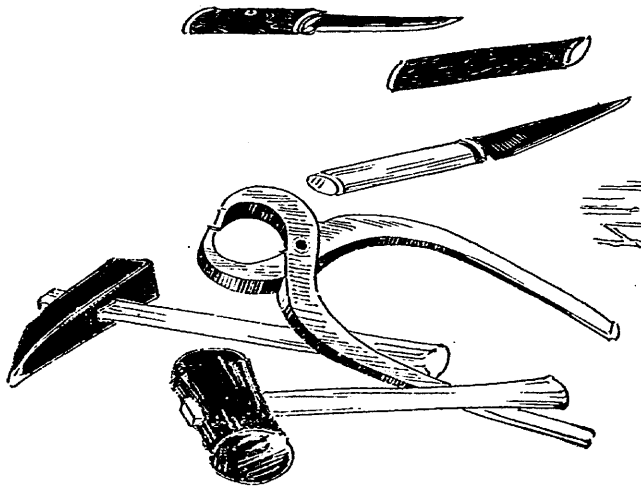


東京小島言本 卷之十一 第十一 國光社鐵板

第十九課

ガ。ギ。ヅ。

コガタナ。  
クギヌキ。  
カナヅチ。



第二十課

ザ。ブ。ゴ。グ。

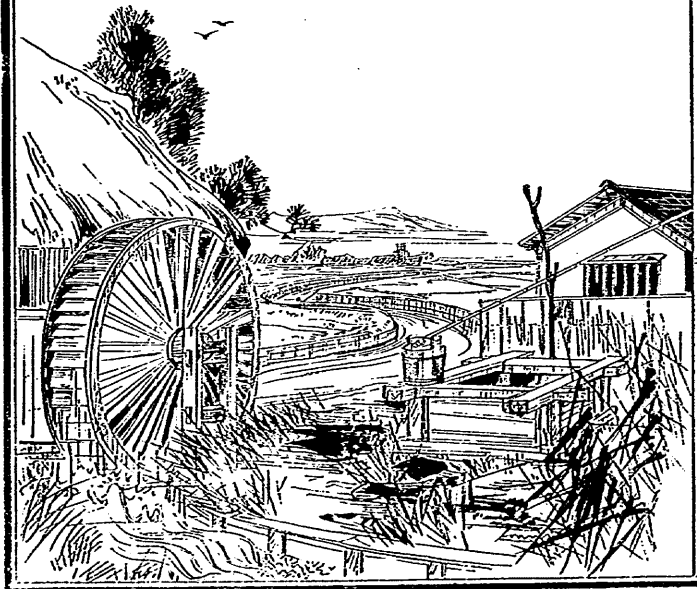
ザルニ  
カブラ。  
カゴニ  
ダイコン。



第二十一課

ド。ベ。ゾ。グ。

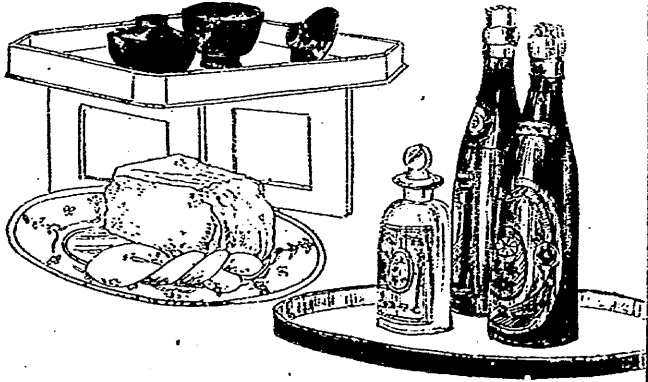
井ド  
ツルニ  
ベ  
ミゾニ  
ミヅグルマ。



第二十二課

ホ。ド。ゼ。パ。

ホシニ  
ビン  
ゼンニ  
ワン  
サラニ  
パン。



第二十三課

へ。び。ぐ。ほ。ぷ。

ケンペイ、ピストル  
ヨサゲ。  
ヒケシ、ポンラ  
ヲヒク。



第二十四課

ハッヘエ、ホッヒキ、フッ。

アサハ、ハヤクオキ  
テキモノヲキカへ、  
カホヲアラビ、チ  
リヲハラフ。



濁音

ガ	ガ	ガ	ガ
ギ	ギ	ギ	ギ
グ	グ	グ	グ
ゲ	ゲ	ゲ	ゲ
ゴ	ゴ	ゴ	ゴ
バ	バ	バ	バ
ビ	ビ	ビ	ビ
ブ	ブ	ブ	ブ
ベ	ベ	ベ	ベ
ボ	ボ	ボ	ボ
パ	パ	パ	パ
ピ	ピ	ピ	ピ
プ	プ	プ	プ
ペ	ペ	ペ	ペ
ポ	ポ	ポ	ポ

半濁音

第二十五課

く。り。か。ま。

かくり  
かま



第二十六課

ふ。せ。い。も。

い。せ。ふ。も。り。き。



第二十七課

あ。め。る。ぜ。

あ。め。る。あ。め。る。  
か。せ。ふ。く。か。せ。ふ。く。



第二十八課

た。を。す。さ。

たをすく

くちをかる



第二十九課

ぎ。し。ろ。ら。

ちぎしや

からすくろ

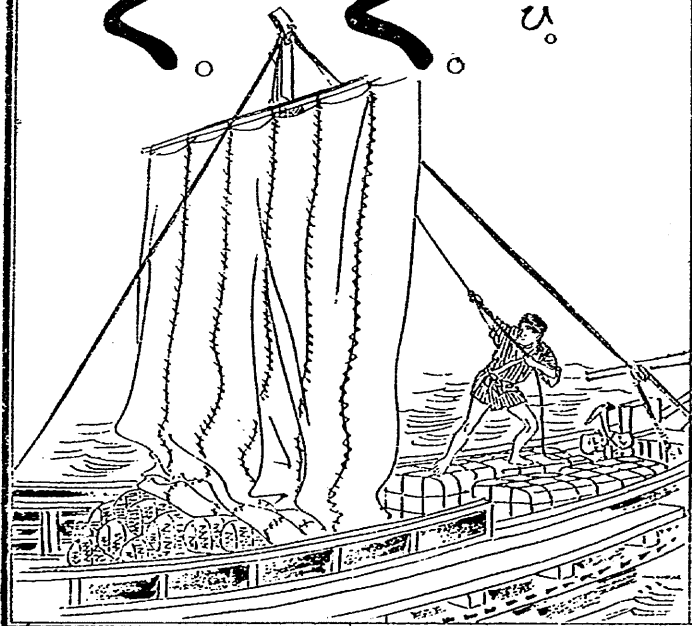


第三十課

ほ。ぐ。つ。な。ひ。

ほをあく。

つなをひく。



第三十一課

や。ま。こ。い。に。わ。ち。ゆ。

やまをこい。

たにをわたり。

まちにゆく。





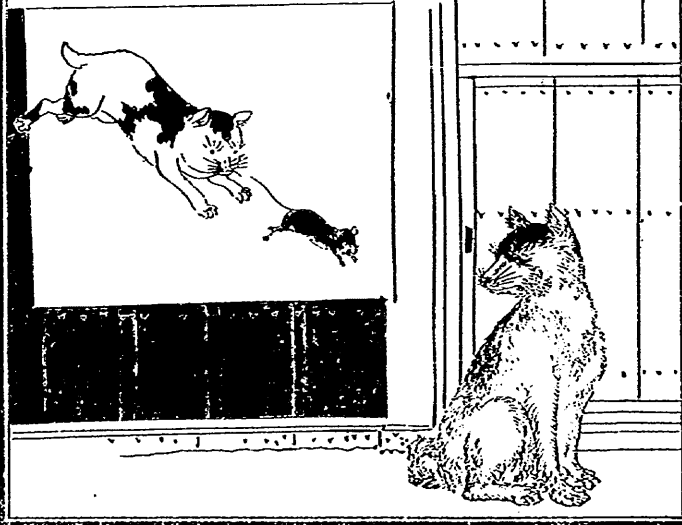
第三十二課

ぬ。ん。ね。ず。み。こ。

いぬもんをま

もり。ねこねず

みをとる。



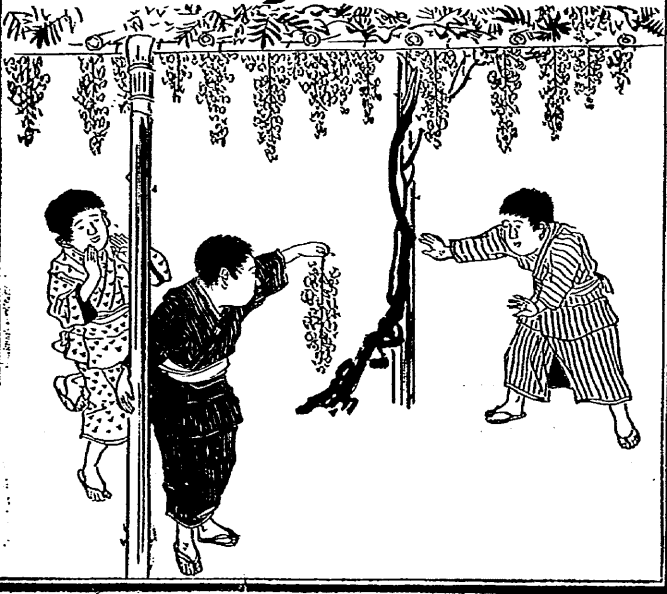
第三十三課

ど。ぢ。の。は。て。ろ。べ。

ごちもらふぢ

のはなをとる

てあそびり。



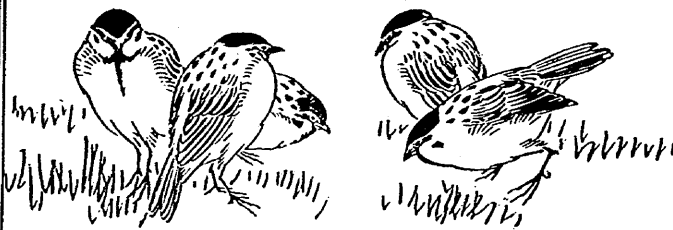
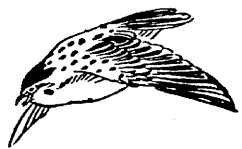
第三十四課

一。二。三。四。五。六。ば。よ。ぶ。

一。二。三。四。五。六。

六はのすずめ。

なかよくあそぶ。



第三十五課

び。ご。び。だ。

びるごがいの

なかにびはあり。

びははあまき

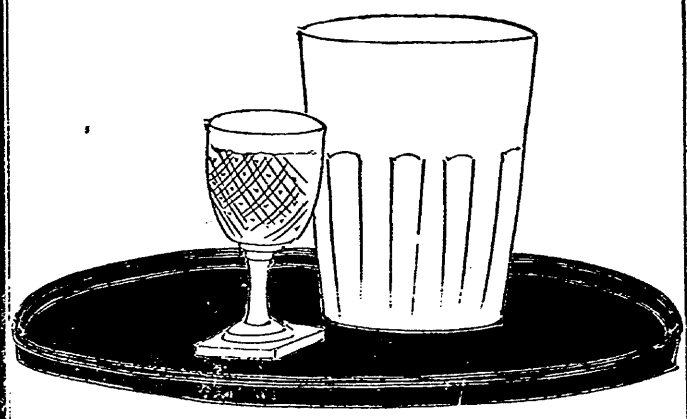
くだものなり。



第三十六課

ぼ。う。へ。ぶ。づ。む。

ぼんのうへに  
こつぶあり。こつ  
ふはみづをの  
むうつはなり。



第三十七課

け。げ。れ。ば。へ。

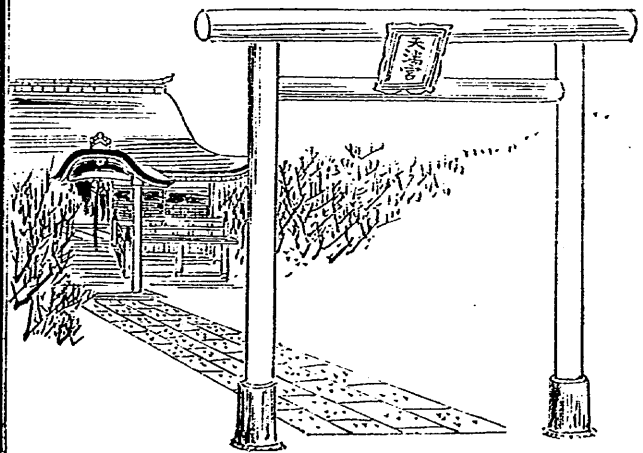
あのひとは、けん  
をさげてつばう  
をもてり。あれは、  
はんぺいなり。



第三十八課

る。た。ト。

とりるのたぐに  
みやあり。あれは  
てんごんさまを  
まつりたるやう  
なり。

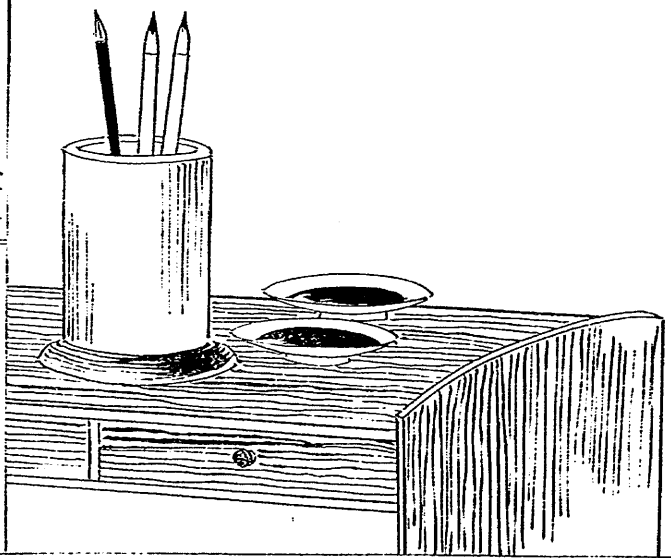


第三十九課

る。で。ほ。ひ。

つくゑのうへに  
ゑのぐとふでたて  
とあり。

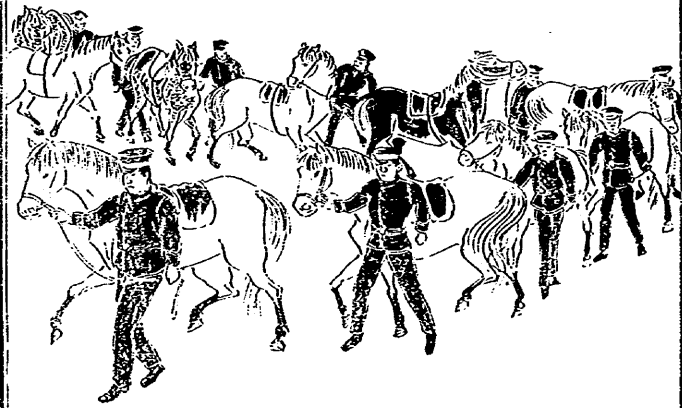
ふでたてに、二ほん  
のふでと、一ほんの  
はんぴつとあり。



第四十課

が。ろ。七。八。九。十。

へいたいがうまを  
ひいてゆく。うまは  
いくひきををるかか  
ろへてみよ。  
一。二。三。四。五。六。七。八  
九。十。十ひきなり。



五十音

あ ア	か カ	さ サ	た タ	な ナ
い イ	き キ	し シ	ち チ	に ニ
う ウ	く ク	す ス	つ ツ	ぬ ヌ
え エ	け ケ	せ セ	て テ	ね ネ
お オ	こ コ	ろ ロ	と ト	の ノ

ん	わ	ら	や	ま	は
ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ
	る	り	い	み	ひ
	ル	リ	イ	ミ	ヒ
	う	る	ゆ	む	ふ
	ウ	ル	ユ	ム	フ
	ゑ	れ	に	め	へ
	エ	レ	ニ	メ	ヘ
	を	ろ	よ	も	ほ
	ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ

濁音及半濁音

が	ざ	だ	ば	ぱ
ガ	ザ	ダ	バ	パ
ぎ	ぢ	ぢ	び	ぴ
ギ	ヂ	ヂ	ビ	ピ
ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
グ	ズ	ヅ	ブ	プ
げ	ぜ	で	べ	ぺ
ゲ	ゼ	デ	ベ	ペ
ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ
ゴ	ゾ	ド	ボ	ポ

數字

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

いろは

い	ろ	は	に	ほ	へ	と	ち
り	ぬ	は	を	わ	か	よ	た
れ	の	つ	ね	な	ら	む	う
る	の	た	く	や	ま	け	ふ
こ	い	て	あ	さ	き	ゆ	め
み	し	ゑ	ひ	も	せ	す	ん

尋常小學讀本卷之一終

明治廿八年二月二十五日發行  
 明治廿八年四月十四日訂正再版發行  
 明治廿八年五月二十五日訂正再版發行  
 明治廿八年五月二十八日訂正再版發行

定價金六錢

著者

西澤之助

東京市京橋區築地二丁目二十一番地

印刷者兼

川崎又次郎

東京市京橋區築地二丁目二十一番地

版權所有

發兌

國光社圖書部

東京市京橋區築地二丁目二十一番地 (電話一九四六番)

120.8

